

『大上地区社協』ニュース



■ No.88

■平成28年1月発行

■大上地区社会福祉協議会

■発行責任者 市ノ澤 寅夫

あけましておめでとうございます 本年も大上地区社協をよろしく願いいたします。

綾北小、北の台小の校長・教頭も出席 児童の下校見守り“ご苦労さん会”を開催

大上地区社協は、会員が校区内の綾北小と北の台小の児童の下校見守り活動をしています。2学期終業日の12月24日(木)の見守りが終わった後の午後1時に大上自治会館へ集まり、今年も“ご苦労さん会”を行ないました。

ご苦労さん会には、市ノ澤会長、木村副会長以下会員22名と綾北小学校の深谷校長と後藤教頭が、北の台小学校の田中校長と町田教頭が特別に出席され、見守り会員と意見交換すると共に親睦を深めていました。特に両校長は“皆さんのお陰で今年も大きな事故もなく、子ども達が登下校できたことは大変ありがたい事です。”と挨拶されていました。

大上地区社協は、長年の登下校の見守り活動が評価され、2月には綾瀬市教育委員会から、11月には綾瀬市交通安全対策協議会から表彰され、当日の会場で市ノ澤会長から皆さんへ表彰状と共に披露されました。



26名が出席したご苦労さん会

福祉施設等の学習ウォーキング会を主催

大上地区社協が主催し、大上走ろう会と大上地区健康普及委員が共催した“市内福祉施設等学習ウォーキング会”が、12月11日(金)に催された。

このウォーキング会は、中高年者の心と体づくりを目的として行なわれているもので、今回は、当初の参加者30名の予定があいにくの朝の大雨のなか午前9時に風車公園へ9名が集まってスタート。始めに寺尾南にある障がい者自立支援センターの「希望の家」を見学、続いて途中から4名が加わってタウンヒルズ内にある通所介護施設の「かいかや」を見学。そして同ヒルズ内にあるレストランで昼食をとった後、深谷上にある神奈川新聞社の印刷工場を見学して風車公園へ戻る8kmを完歩して解散した。

参加した女性は「今回はあいにく朝は大雨でしたが、日中は晴れて皆さんと歩きながらおしゃべりして色々な施設も見学できた楽しいウォーキングでした。」と感想を話していました。



障がい者自立支援センターを見学

綾瀬市交通安全対策協議会からも表彰される

綾瀬市交通安全対策協議会と綾瀬市防犯協会の主催による“第24回交通安全・防犯推進市民のつどい”が、11月28日(土)午後2時からオーエンス文化会館小ホールに綾瀬市交通安全対策協議会会長の笠間市長を始め、大和警察署の池田署長など関係者多数が出席して行なわれた。



受賞者代表で表彰を受ける市ノ澤会長

この市民のつどいの表彰は、交通事故防止および防犯活動での長年の功績に対して顕彰すると同時に、幼児から中学生による交通安全と防犯ポスターの入賞者を表彰するもの。本年度は4団体と個人の36名が表彰され、大上地区社協も平成18年1月から実施している校区内の綾北小と北の台小の児童の下校時の見守り活動が評価され、交通安全功労団体として綾瀬市交通安全対策協議会長表彰として表彰されました。

